

地域の将来を見据えた改善すべき課題

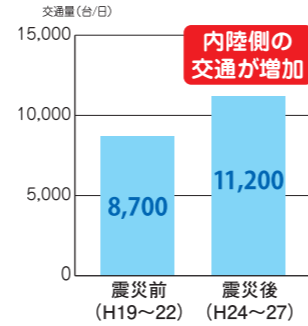
課題 1 安全・安心

◆国道108号は震災後に交通量が増加しておりますが、道幅が狭く急カーブも多いため、安全性が脅かされています。



混雑状況

交通量の増加状況

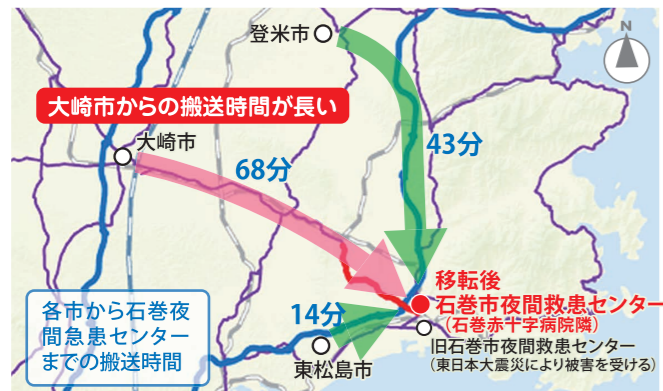


資料: H22道路交通センサス、H27全国道路・街路交通情勢調査場所: 国道108号(丸井戸~北村)

課題 2 医療連携

◆石巻夜間急患センターは県北地域で唯一、小児科がある急患センターのため、大崎方面からの搬送数も増加しており、搬送時間の短縮が求められています。

石巻市夜間急患センターまでの搬送時間



資料: 民間プロンプ(H28.10 平日)

課題 3 周遊観光

◆観光客数が震災以前より減っており、周遊観光の促進を図るためには、東西方向の移動時間の短縮が求められています。



資料: 所要時間: H28.10民プロ(平日)ピーク時旅行速度 観光客数: 宮城県観光統計概要 (H28)

課題 4 地域産業支援

◆国道108号は山形県や大崎方面への紙・木製品・飼料など地域産業の輸送を担っていますが、直角交差点など物流の支障となっており、安定輸送が求められています。



物流の支障となる直角交差点

課題 5 防災

◆東日本大震災時、国道108号は内陸からの救援・復旧ルートとして活用されました。
◆石巻市と内陸を結ぶ緊急輸送道路は国道108号のみであり、災害に強い道路が求められています。



資料: 宮城県HP

国道108号 石巻河南道路



事業概要

石巻市内を通過する国道108号は震災以降、内陸部の開発等に伴う交通需要の増加のほか、幅員が狭い箇所やカーブが急な箇所があるため、円滑な交通に支障をきたしていました。

これらの諸問題を解消するため、石巻市蛇田を起点とし石巻市北村に至る延長7.8km（現道拡幅区間2.1km、バイパス区間5.7km）の石巻河南道路が計画されました。

事業進捗状況

都市計画決定
昭和60年度
都市計画変更
令和3年2月

事業着手
令和3年4月

現地測量
令和3年7月
設計説明会
令和5年1月

計画平面図



石巻河南道路位置図



計画諸元

区間	起点	宮城県石巻市蛇田
	終点	宮城県石巻市北村
延長	L=7.8km	
構造規格	バイパス区間	第3種 第2級
	現道拡幅区間	第4種 第1級
設計速度	60km/h	
計画交通量	10,900台/日	

標準断面図

